

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	社会科	自然災害から命を守る	令和2年1月31日(金) 2校時

自分の考えを見つめ直し、再構成していくために

① 図式化のイメージの共有

防災施設って、どのような役割があったかな？



それ以外にも、やっていることはあるから、ぼくだったらこのようにするな。



「地域」や「わたし」を津波の被害から守ってくれるから、矢印でつなぐね。

本時、子どもに立ち止まって、根拠を基に考え直させたいことは、「県や市(公助)」「地域(共助)」「わたし(自助)」の関わりについての捉え方である。そのために「図式化」を行わせて、それを基に説明活動を取り入れた。

- ① 「防災施設」を例にとり、図式化のイメージをもたせる。
- ② 個人で図式化を行わせ、自分の考えをもたせる。
- ③ 意見交流の場を設け、質疑をさせることで、考えの見直しをさせる。
- ④ 全体場で、図式化したものを紹介する。
- ⑤ 図式化したものに、「タイトル」をつける。

② 図式化(個人作業)

「地域」では、自主防災組織をつくって訓練などをしてきたから、「わたし」を守ってくれることになるな。



「わたし」ができることで、防災バックがあったな。これをもって避難することで、「地域」の避難所で役に立ちそうだな。

子どもの反応： これまで学習したことをふりかえりながら、「県や市」「地域」「わたし」がそれを行うことによって、どのようなかかわりがあるのかということを考えながら、図式化する姿が見られた。

③ 意見交流

意識の高まりについては、自分の図では書いてないな。なるほどな。



二人で(隣の人と)

防災マップや防災訓練をしているでしょう。だから、「わたし」の防災に対する意識を高めることを行っていると思うから、矢印がこのような伸びると思うよ。

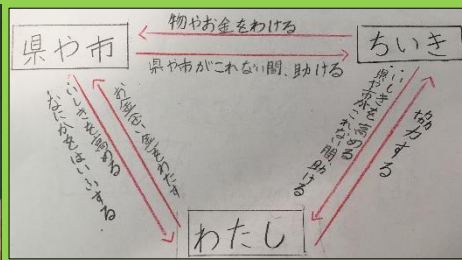
防災訓練を「県や市」「地域」それぞれやっているでしょう。だから、お互いに矢印が向いて、協力しながらやっていると思うからこのような図を描いたよ。



不特定多数の人と

④ 全体での意見交流

防災マップや防災訓練をして、「わたし」の防災に対する意識を高めることを行っています。また、「わたし」は協力することで「県や市」「地域」の役に立っていると思うからこのような図にしました。



子どもがまとめた関係図

ぼくが、まとめた図に似ているな。でも、防災組織のことは、書かれてないな。

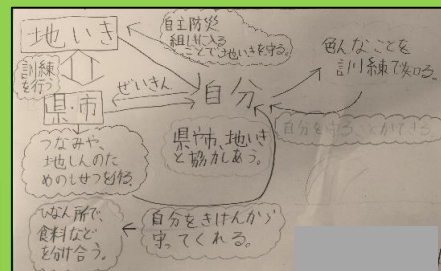


⑤ 関係図のタイトル付け

自分が考えた関係図にどのようなタイトルを付けますか？



3つが繋がっているようになったな。だから「命を守るつながり」かな。



子どもの反応及び意識の高まり

関係図を、学習したことを基にして子ども自らに考えさせることで、「県や市」「地域」「わたし」の「つながり」を見出すことにつながった。意見交流の中で、自分とは違うまどめに触れることで、大切なことは何かを考えるきっかけとなった。その中で、「県や市」「地域」「わたし」が行っていることには、すべてに意味があり、だからこそ「わたし」がどのように備えなければならないのかということを再認識することにつながった。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 本時の目標

「県や市（公助）」「地域（共助）」「自分（自助）」のかかわりを関係図にまとめ、地震災害から命を守るために様々なかかわりがあることを考えることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 地震発生時の危険と地震災害に対する備えや対応を基に、本時の学習問題を設定する。</p> <p>○ 大規模地震発生時の地震の被害の様子</p> <div data-bbox="172 461 796 528" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きると、津波が心配だなあ。 ・建物から、物が落ちてくる危険もあるね。 </div> <p>○ 本時の学習問題</p> <div data-bbox="172 589 796 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「県や市」「地域」「自分」には、どのようなかかわりがあるのだろう。</p> </div> <p>2 本時学習について見通しをもつ。</p> <p>○ 考えること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県や市」「地域」「自分」のかかわり <div data-bbox="459 723 802 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>○ かかわりの図式化の仕方</p> <div data-bbox="172 958 796 1066" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが行っていることは、どのような意味があるのかな？どのようなかかわりがあるのかな？ </div>	<p>○ 宮崎市津波シミュレーション映像を見せ、地震発生時の危険性を視覚的に捉えさせることで、地震災害から命を守ることの大切さについて確認できるようにする。</p> <p>○ 地震災害に対する備えや対応についてふりかえり、「県や市」「地域」「自分」の三者がどのようにかわることで、災害から命を守られているか問うことで、本時学習問題を設定できるようにする。</p> <p>○ 津波から命を守るための防災施設を例に、「県や市」「地域」「自分」の三者のかかわりについて、子どもの意見を基に、図式化していくことで、本時学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○ 堤防が設置されているだけで、命を守ることにつながるか問うことで、これまでに学習してきたことから大切な事柄を、三者のかかわりでまとめ、説明できるようにする。</p>
<p>3 「県や市」「地域」「自分」のかかわりを話し合う。</p> <p>○ 三者のかかわりについての話し合い</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えの図式化 ② 考えの交流 <div data-bbox="132 1227 810 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈交流前〉</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈交流後〉</p> </div> </div> </div>	<p>○ 図式化が難しい子どもには、例示した図を基に、避難訓練を例に付け加えさせることで、地震災害に対する備えや対応がどのようにかわりをもっていいのか図式化できるようにする。</p> <p>○ 考えの交流を行う際には、質問や意見交流の場を設けることで、三者のかかわりについて様々な見方や考え方に触れることができるようにする。</p> <p>○ 意見交流後、自分が図式化したものを見つめ直す時間を設け、書き直したり書き足したりさせることで、備えや対応のかかわりの意味について考えを再構成できるようにする。</p>
<p>4 地震災害に対する「県や市」「地域」「自分」の備えや対応のかかわりについて考える。</p> <p>○ それぞれの役割のつながりについて</p> <div data-bbox="172 1671 796 1765" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど、自分も地域にかかわりがあるんだな。私たちは、守られているだけではないんだな。 </div> <p>5 本時学習をまとめる</p> <p>○ 学習をとおしての感想</p> <div data-bbox="172 1865 796 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地震災害に対する備えは、いろいろなものがかかわりあっているんだな。どれも大切で、そのおかげで、私たちは守られているんだな。私自身の備えについても考えていきたいな。</p> </div>	<p>○ 地震災害に対する備えや対応として、同じ事例を取り上げていても、異なった見方をしているものを紹介することで、「県や市」「地域」「自分」のかかわりについて様々な見方ができるようにする。</p> <p>○ 「県や市」「地域」「自分」の三者の働きについて、交流をとおして自分の考えを見つめ直させることで、地震災害から命を守るために様々なかかわりがあることに気付くことができるようにする。</p>

○ 本時の評価規準

地震災害から命を守るための様々なかかわりを「県や市（公助）」「地域（共助）」「自分（自助）」の三者の視点で図式化したものを用いて、説明することができている。
 (思考・判断・表現)【発言・ノート】

○ 単元指導計画 (10 時間)

段階	主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す (3)	<p>1 宮崎県の地震災害を調べ、「お守り手帳」が役立つかどうか考え、単元を貫く「問い」をもつ。〈第1～3時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎で起きた地震災害 ○ 「お守り手帳」の中身 <p>【単元を貫く「問い」】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どのような「お守り手帳」であれば役に立つのだろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災の様子 <p>【追究する学習問題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地震災害から命を守るために、どのような備えや対応が行われているのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎県で起きた地震被害について年表等を活用して調べることとおして、宮崎県でも地震災害が起きていることに気付くことができるようにする。 ○ 地震発生後の被害に着目させ、現在使用している「お守り手帳」が、役立つかどうか考えさせることで、単元を貫く「問い」をもつことができるようにする。 ○ 東日本大震災について調べ、地震災害への備えと対応という観点に分けて考えさせることで、本単元の学習の見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎県において、地震災害が起きていることを理解している。 (知・技) 【発言・ノート】 ○ 地震災害から命を守ることに興味をもち、単元を貫く「問い」を立て、学習の見通しをもっている。 (態度) 【発言・ノート】
挑む (5)	<p>2 地震発生時の関係諸機関の対応と私たちの備えについて追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係諸機関の地震災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・ 県や市が行う備え ・ 地域が行う備え <p style="text-align: right;">〈第4時〉</p> ○ 関係諸機関の地震災害への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県や市の取組 ・ 警察や消防等の取組 ・ 関係諸機関の連携 <p style="text-align: right;">〈第5～6時〉</p> ○ 自分の備え <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅にいるときの備え ・ 登下校時の備え <p style="text-align: right;">等 〈第7時〉</p> <p>3 追究する学習問題について話し合い、地震災害から命を守るために行われていることについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ かかわりの図式化 <p style="text-align: right;">〈第8時〉</p> <p>【追究する学習問題のまとめ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地震災害から命を守るために、関係するところが様々な備えを行っている。被害を最小限にするために、施設等を整備するだけでなく、私たちの住む地域でも取組を行っている。自分にできることは何かを考え、備える必要がある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震災害に対する備えを、自分たちでできることとできないこととに分けさせていくことで、様々な人のかかわりで備えがなされていることに気付けるようにする。 ○ 危機管理に携わる立場ごとに行っていることを図式化してまとめさせることで、役割の分担や関係諸機関の協力体制に気付けるようにする。 ○ 登下校時や家で一人にいるときの地震への対応の仕方考えさせることで、家族だけでなく、自分自身の地震災害に対する備えの大切さに気付けるようにする。 ○ 地震災害に備え、公助や共助、自助のかかわりを図式化してまとめさせることで、命を守るために様々な人のかかわりがあることについて考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震災害に対して関係諸機関が行っている備えを理解している。 (知・技) 【発言・ノート】 ○ 地震発生時の関係諸機関の対応について理解している。 (知・技) 【発言・ノート】 ○ 地震災害に備えて、自分自身の備えの必要性を理解している。 (知・技) 【発言・ノート】 ○ 地震災害から命を守るための様々なかかわりを「県や市(公助)」「地域(共助)」「自分(自助)」の三者の視点で図式化したものを用いて、説明することができる。 (思・判・表) 【発言・ノート】
生かす (2)	<p>4 よりよい「お守り手帳」とは何かについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの有効性 ○ よりよい「お守り手帳」とは <p style="text-align: right;">〈第9時〉</p> <p>5 地震災害に備えて、よりよい「お守り手帳」にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お守り手帳」の見直し <p style="text-align: right;">〈第10時〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お守り手帳」に必要なものは何か問い、出た意見を類型化して板書することで、よりよい「お守り手帳」にするための必要な視点に気付くことができるようにする。 ○ よりよい「お守り手帳」にするための話し合いで見えてきた視点を基に手帳を見直すことで、いざという時に備えたお守り手帳にすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を貫く問いに対する自分の考えを、学習してきたことを基に表現することができる。(思・判・表) 【発言・ノート】 ○ よりよい「お守り手帳」にすることができる。(知・技) / (態度) 【発言・お守り手帳】